

みんなの教材サイト 「みんなの教材サイト」リニューアル!

日本語国際センター制作事業課
にほんごこくさいせいさくじきぎょうか

高野千恵子・赤澤幸
こやのちえこあかざわゆき
磯村一弘・三原龍志
いそむらかずひろみはらりゅうし

国際交流基金日本語国際センターでは、日本語教師の教材作成を支援するインターネット・サイト「みんなの教材サイト」(http://minnanokyozaï.jp/)の全面リニューアルを行いました。この記事では、「みんなの教材サイト」の開設以来の利用状況を報告するとともに、2008年10月に公開した新しい「みんなの教材サイト」の特徴をご紹介します。



1. 「みんなの教材サイト」の概要

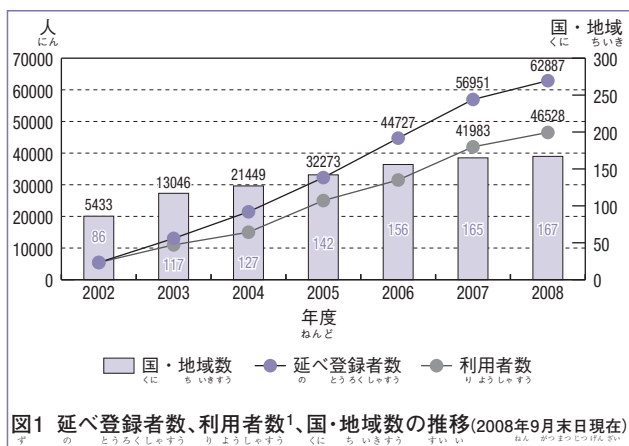
(1) 基本方針

- ①世界のどこからでも簡単に活用できること
- ②著作権許諾の手続きが必要ないこと
- ③利用者からも素材や情報の発信ができること
- ④教師の専門性発達に役立つこと

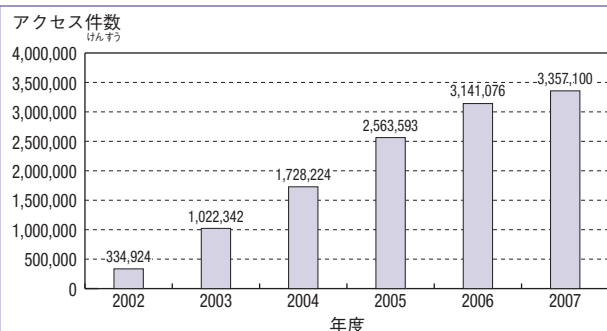
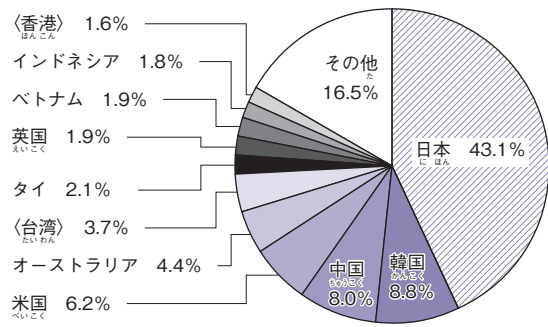
「みんなの教材サイト」は、上の4つの基本方針のもと、教室活動や写真、イラスト、文法解説・例文などの日本語教育用素材を提供してきました。また、利用者からも素材や情報の発信ができる、利用者間の交流の場を設けて、運営を行ってきました。

(2) 利用状況

「みんなの教材サイト」はユーザー登録制のサイトです。2008年9月末までの延べ登録者は62,887人で、登録者の居住地は167の国と地域に上っています(図1)。



登録者の国・地域別の割合は、最も多いのが日本で約43%、次いで韓国、中国、米国、オーストラリアとなっています(図2)。2002年の公開以来、アクセス件数は年々増加しており、2007年度のアクセス件数(ページビュー)は約336万件でした(図3)。



2. リニューアルについて

(1) 背景

2002年以来、登録者やアクセス件数は年々増えていましたが、2007年3月と2008年3月にユーザーアンケートを実施したところ、より多くの種類と数の「教材用素材」がほしいという回答や、検索が使いにくく、ほしい素材が見つからないという回答が数多く寄せられました。また、「みんなの教材サイト」は利用者から素材や情報の発信ができることをひとつの方針にしていたにもかかわらず、これまで、利用者からの発信はあまり多くありませんでした。「みんなの教材サイト」のリニューアルは、このような課題の解決を目指して実施されました。

(2) 新しい「みんなの教材サイト」

●「教材用素材」の追加

まず、「教材用素材」を「教室活動」「イラスト」「写真」「文法」「読解」の5種類に整理しなおすとともに、「教材用素材」の追加がしやすい仕組みのデータベースを構築しました。そして、リニューアル時には、イラスト「初級語彙イラスト集」308点と教室活動「季節の活動」109点を、新しく追加しました。



図4 「初級語彙イラスト集」のイラストの例
(左から「取り替えます」、「歌います」、「読みます」)

「初級語彙イラスト集」(図4)は、基本語の導入に使えるようなイラストが少ないという利用者からの意見を受けて、新たに開発したものです。現在の日本語能力試験の初級レベル(4、3級)の語彙表から308の動詞を取り出してイラスト化しました。また、「みんなの教材サイト」が主な対象としている海外の日本語教育の現場では、日本語の教授だけでなく日本の文化や習慣が伝えられるような教室活動が求められることも多いため、教室活動「季節の活動」のシリーズを開発しました。このシリーズは、日本の季節の風物について理解を深めつつ、日本語を使った教室活動ができるように工夫されています。

これらを追加した結果、新しい「みんなの教材サイト」には現在、教室活動270点、イラスト7,728点、写真515点、文法246点、読解10点の計8,769点の「教材用素材」が掲載されています。

●検索機能の改善

前述のとおり、「教材用素材」を5つの種類に整理しなおして、各素材の特性に合わせた検索ができるようにしました。例えば「教室活動」の場合、「教科書を作ろう」と「季節の活動」という2種類の活動集がありますので、すべての

活動案を検索できる横断検索の機能と、活動集ごとの一覧画面を作りました(図5)。また、「写真」、「イラスト」、「文法」については、キーワード検索以外に、「50音順リスト」などの一覧画面も作成しました。

●コミュニティ機能の改善

利用者間の相互交流を活性化するため、利用者が気軽に参加できるインターフェイスを目指しました。素材・アイデアの投稿画面を簡素化し、写真1枚からでも手軽に投稿できるような画面にしました。素材・アイデアに対する感想やコメントも気軽に送ってもらえるよう、「役に立った投票」を設けたり、「コメント」を素材画面のすぐ下に書き込めるような画面に変更しました。

3. リニューアル後の反応と今後

リニューアルから約1ヵ月経った2008年11月現在、新しい「みんなの教材サイト」に対する反響はまだ十分に集まっていません。しかし、2008年11月のアクセス数は約54万件で、リニューアル前の9月と比較して2倍になりました。また、利用者からのコメントや素材・アイデアの投稿も大幅に増えており(表1)、利用者が積極的に新しいサイトを使っていることがわかります。

今回のリニューアルはひとつの通過点に過ぎません。利用者みなさんから寄せられる声に、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。次は形容詞のイラスト素材の追加を予定しています。これからも「みんなの教材サイト」の発展にご期待ください。

	2008年8月	9月	10月	11月
コメント数	3	4	24	75
素材・アイデア数	0	0	2	21

※リニューアルオープンは2008年10月22日。

表1 コメント数、素材・アイデア数の推移

1 「利用者数」とは、退会者、及び事務局からメールでの連絡が取れなくなったため、一時的に利用停止にしている登録者を除いた数。



横断検索画面

教室活動トップページ

活動集ごとの一覧画面

図5 「教室活動」トップページ、検索画面、一覧画面